

「数学B 教授資料」(数B710) 訂正のお願い

常日頃は弊社書籍をお使いいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、大変恐縮に存じますが、本書に下記の誤りがございました。心よりお詫び申し上げますとともに訂正内容についてご報告させていただきます。

誠に恐れ入りますが、ご指導の際にはご留意を賜りますようお願い申し上げます。

不備を残しまして、ご迷惑をおかけいたしますこと、重ねてお詫び申し上げます。

(教授資料 本冊)

訂正箇所	原文	訂正文
82頁 右段 「深める」 の解答	深める 標準偏差 $\sigma(X) = \sqrt{V(X)}$ の値が小さいとき、分散 $V(X) = \sum_{k=1}^n (x_k - m)^2 p_k$ の値が小さい。そのとき、 X の各値 x_k と平均 m について、 $(x_1 - m)^2, (x_2 - m)^2, \dots, (x_n - m)^2$ の値が小さい。すなわち X のとる値が m の近くに <u>集中している</u> 。	深める 標準偏差 $\sigma(X) = \sqrt{V(X)}$ の値が小さいとき、分散 $V(X) = \sum_{k=1}^n (x_k - m)^2 p_k$ の値が小さい。そのとき、 X の各値 x_k と平均 m について、 $(x_1 - m)^2, (x_2 - m)^2, \dots, (x_n - m)^2$ の値が小さくなる x_k の割合が大きい。すなわち X のとる値が m の近くに <u>集中する傾向にある</u> 。
196頁 下から 4行目	の値が <u>小さい</u> 、すなわち X のとる値が m の近くに <u>集中している</u> 。	の値が小さくなる x_k の割合が大きい。すなわち X のとる値が m の近くに <u>集中する傾向にある</u> 。
226頁 右段 下から 2, 1行目	の値が <u>小さい</u> 、すなわち X のとる値が m の近くに <u>集中している</u> 。	の値が小さくなる x_k の割合が大きい。すなわち X のとる値が m の近くに <u>集中する傾向にある</u> 。

訂正箇所		
170頁 右段 教科書 縮刷 25行目	原文	(*) ここでは、 <u>フリールーティン</u> と呼ばれる競技の採点について扱う。
	訂正文	(*) ここでは、 <u>2018年におけるフリールーティン</u> と呼ばれる競技の採点について扱う。

※お持ちの刷では、上記の訂正内容が修正済みの場合がございます。

(指導用教科書)

訂正箇所	原文	訂正文
16頁 応用例題1の 発問例の解答	n が1 から <u>7</u> のとき S_n は増加し, <u>8</u> 以上のとき S_n は減少する。	n が1 から <u>9</u> のとき S_n は増加し, <u>10</u> 以上のとき S_n は減少する。
60頁 「深める」 の解答 3行目	が <u>小さい</u> 。すなわち X のとる値が m の近く に <u>集中している</u> 。	が <u>小さくなる x_k の割合が大きい</u> 。すなわち X のとる値が m の近くに <u>集中する傾向に</u> <u>ある</u> 。
86頁 例題7の発問例 の解答	$\sum_{k=1}^{100} {}_{720}C_k \left(\frac{1}{6}\right)^k \left(\frac{5}{6}\right)^{720-k}$	$\sum_{k=0}^{100} {}_{720}C_k \left(\frac{1}{6}\right)^k \left(\frac{5}{6}\right)^{720-k}$

訂正箇所		
132頁 25行目	原文	(*) ここでは、 <u>フリールーティン</u> と呼ばれる競技の採点について扱う。
	訂正文	(*) ここでは、 <u>2018年におけるフリールーティン</u> と呼ばれる競技の採点について扱う。

※お持ちの刷では、上記の訂正内容が修正済みの場合がございます。

以上